

# Cisco HyperFlex Edge 4.5 クイックインストールレーション ガイド

2021年6月版

## シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。  
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

### お問い合わせ先

**お電話での問い合わせ**  
平日10:00-12:00, 13:00-17:00  
**0120-092-255**

**お問い合わせウェブフォーム**  
[cisco.com/jp/go/vdc\\_callback](https://cisco.com/jp/go/vdc_callback)



©2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.  
Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。  
本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間の  
パートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は2021年6月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社  
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp>

1. 本ガイドの目的と準備 .....	P02
2. Cisco HyperFlex Edge 4.5 概要 .....	P03
3. 構築までの流れ .....	P04
4. Cisco HyperFlex Edge インストールの準備 .....	P05
5. Cisco HyperFlex Edge インストール手順 .....	P12

# 1. 本ガイドの目的と準備

## 1-1 本ガイドの目的

本ガイドは Cisco HyperFlex Edge 4.5 の基本インストールを説明するものです。Cisco HyperFlex Edge 4.5 の概要、セットアップ全体の流れ、設定に必要な IP アドレス、VLAN などの展開に必要なヒアリング項目を含めています。本ガイドを通して、物理的な接続を理解し、ノード初期設定、Cisco Intersight へのデバイスの登録、Cisco HyperFlex Edge 4.5 の展開までが行えることを目的としています。ノードの初期設定は Cisco Integrate Management Controller (以下、CIMC) で行います。

## 1-2 本ガイドの説明範囲

本ガイドでは、Cisco Intersight を利用した Cisco HyperFlex Edge 4.5 の 2 ノード構成 (2-Node Edge) を例とし、初期インストールによりクラスタを展開して、仮想化基盤が利用可能になるまでの手順を説明しています。

## 1-3 環境の構築に必要な準備事項

Cisco HyperFlex 2-Node Edge 構成の構築に必要な物理環境、サーバ類、インストール可能なソフトウェアバージョンを以下の表に示しています。ヒアリング項目は別ページ (P05「4-1 設定情報の準備」) を参照してください。

### 1. 物理環境

項目	内容	数量
電源ケーブル		4
CIMC 管理用 LAN ケーブル	LAN ケーブル (カテゴリ 6 RJ45)	2
10 GE Uplink (Dual スイッチ) の場合		
Cisco HyperFlex Edge 接続用スイッチ	10 GbE × 2, 1 GbE × 1 + Uplink ポート	2
Cisco HyperFlex - Switch 間 LAN ケーブル	SFP+ または SFP-28 Twinax ケーブル	4
	LAN ケーブル (カテゴリ 6 RJ45)	2
1 GE Uplink (Dual スイッチ) の場合		
Cisco HyperFlex Edge 接続用スイッチ	1 GbE × 3 + Uplink ポート	2
Cisco HyperFlex - Switch 間 LAN ケーブル	LAN ケーブル (カテゴリ 6 RJ45)	6
サーバ間接続ケーブル 10 GbE 接続	LAN ケーブル (カテゴリ 6 RJ45)	2

### 2. サーバ類

項目	内容
DNS サーバ	VMware vCenter サーバ(オプション)
NTP サーバ	Proxy サーバ(オプション)

### 3. CIMC、VMware ESXi のバージョン (詳細は最新の Cisco HyperFlex リリースノートを参照してください)

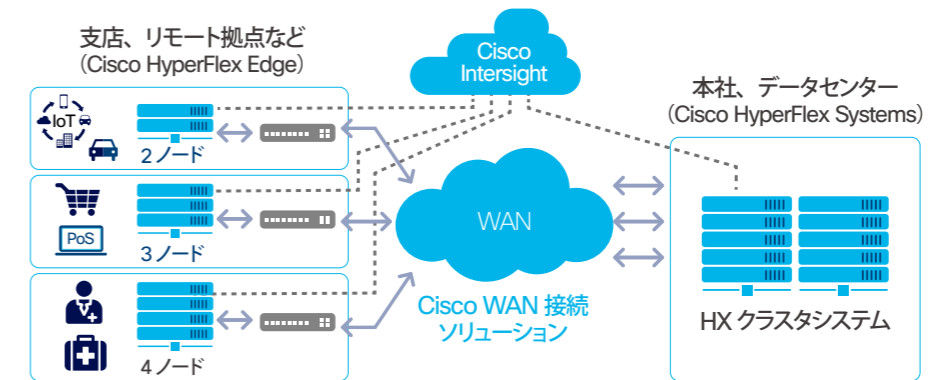
項目	サポートするソフトウェアバージョン
CIMC	4.0 (2h) 以降
VMware ESXi (Cisco HyperFlex Edge にプリインストール) ※ VMware vCenter については VMware Product Interoperability Matrix を参照してください。	6.5 U3, 6.7 U3, 7.0 U1c (build 17325551) 以降 (Enterprise, Enterprise Plus, Standard, Essentials Plus, ROBO) ※ 10G/25G 構成は 6.5 以降をサポート

# 2. Cisco HyperFlex Edge 4.5 概要

## 2-1 Cisco HyperFlex Edge 4.5 概要

Cisco HyperFlex Edge は、リモートオフィスやブランチオフィス (ROBO) への展開に適した、シンプルなハイパーコンバージド インフラストラクチャ (HCI) 製品です。

Cisco HyperFlex の中核となるソフトウェア Cisco HX Data Platform リリース 4.5 以降では、2 ノード、3 ノード、4 ノードのいずれかの構成で、1 GbE または 10 GbE 接続のクラスタを展開できます (10 GbE 接続構成では、将来のリリースで 2 → 3 ノード、3 → 最大 4 ノードへの拡張が可能となります)。



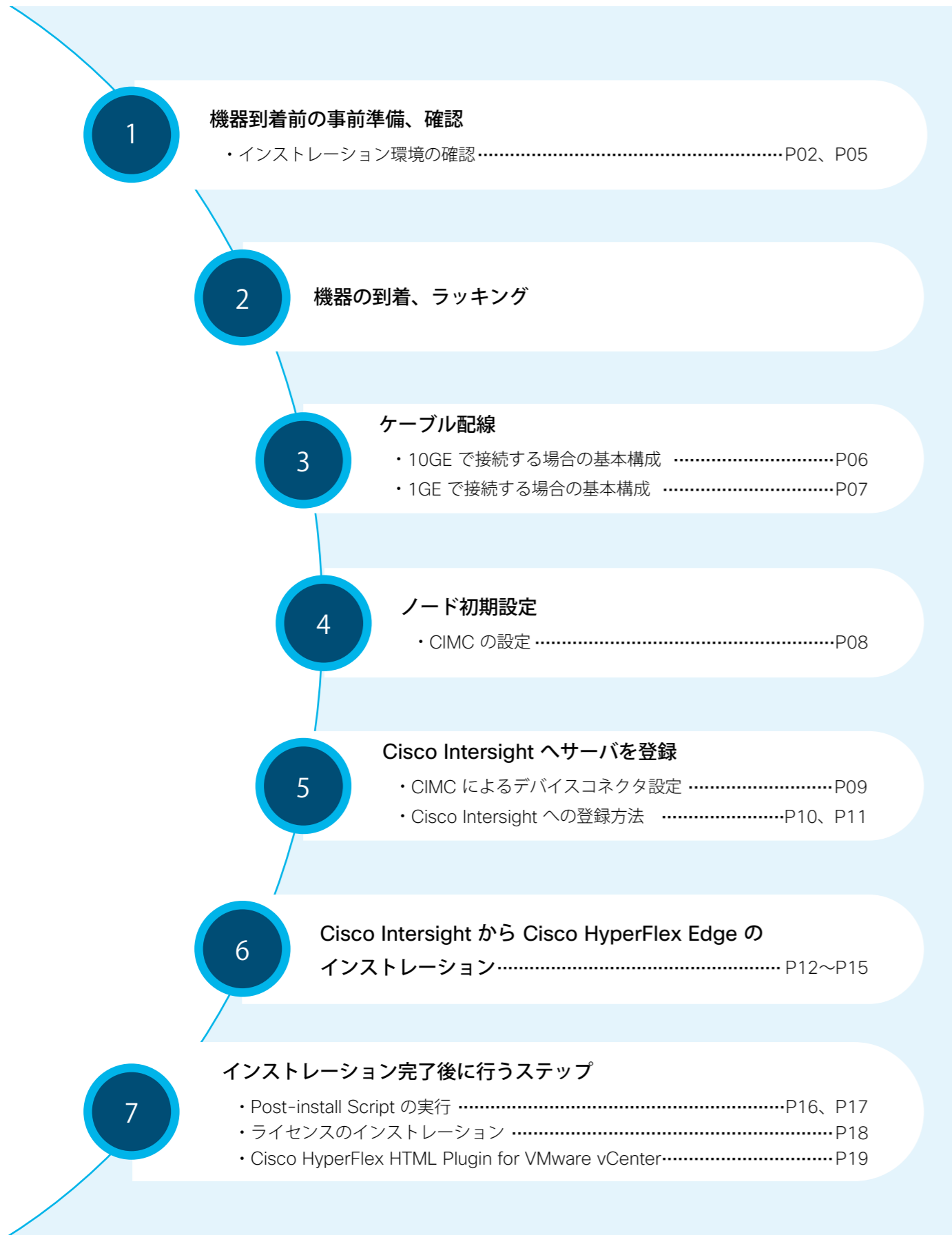
Cisco HyperFlex Edge のクラスタを展開するには、通常 HX インストーラ (OVA) を使用しますが、クラウド管理ソリューションである Cisco Intersight に Cisco HyperFlex Edge ノードをデバイスとして登録することで、Cisco Intersight 内のインストーラからインターネットを介してクラスタを展開することが可能です。

また、一般的に 2 ノードからなるクラスタを構成する際は Witness 機能と呼ばれる第三者からの監視、制御が必要となります。

Cisco Intersight は Witness サービス (監視機能) を装備しているため、構成に専用の監視サーバを必要としません。そのため、Cisco HyperFlex Edge 2 ノード構成の場合は、Cisco Intersight へのデバイス登録、および Cisco Intersight からのインストールが必須となります。

ノード数/クラスタ (ネットワーク構成)	HX インストーラ (OVA) の利用	Cisco Intersight からのインストール
2 ノード (1GE Single/Dual スイッチ)	—	必要
2 ノード (10GE Single/Dual スイッチ)	—	必要
HX 240 Edge	—	必須
3 ノード (1GE Single/Dual スイッチ)	可能	可能
3 ノード (10GE Single/Dual スイッチ)	可能	可能
4 ノード (1GE Single/Dual スイッチ)	可能	可能
4 ノード (10GE Single/Dual スイッチ)	可能	可能

### 3. 構築までの流れ



### 4. Cisco HyperFlex Edge インストールの準備

#### 4-1 設定情報の準備

Cisco HyperFlex 2-Node Edge 構成のインストールに必要な設定情報を以下に示します。番号欄に設定画面を説明するページを示しています。

##### 1. クラスタ、ホスト名

Hyper Flex Cluster 名 /Profile 名	番 号
	P12 <b>1-1</b>

##### 2. ネットワーク関連

Network	VLAN ID	番 号
VMware ESXi と Cisco HyperFlex 管理用		P14 <b>2-1</b>
HX ストレージトラフィック用		P15 <b>2-2</b>
VMware vMotion 用		P17 <b>2-3</b>
VM network(s) 用		P17 <b>2-4</b>

##### 3. CIMC 管理 IP アドレス

Server	IP Address Server 1	IP Address Server 2	番 号
Server 1 および 2 の管理 IP アドレス			P8 <b>3-1</b>
サブネットマスク			P8 <b>3-2</b>
Gateway IP アドレス			P8 <b>3-3</b>
DNS サーバ IP アドレス			P8 <b>3-4</b>

##### 4. ネットワーク IP アドレス

管理ネットワーク	IP Address Server 1	IP Address Server 2	番 号
Server 1 および 2 ハイパーバイザ管理 IP アドレス	From:	To:	P14 <b>4-1</b>
Server 1 および 2 ストレージ管理 IP アドレス	From:	To:	P14 <b>4-2</b>
ストレージクラス管理 IP アドレス	IP Address	MAC: 00:25:B5:___	P15 <b>4-3</b>
ハイパーバイザ、ストレージ データ用 IP アドレス	169.254.1.X より自動割り当て (4 個)		
MAC アドレス	From 00:25:B1:___ to 00:25:B5:___		P14 <b>4-4</b>
サブネットマスク			P14 <b>4-5</b>
Default Gateway IP アドレス (VMware ESXi/CVM)			P14 <b>4-6</b>
DNS		suffix:	P13 <b>4-7</b>
NTP			P13 <b>4-8</b>

##### 5. ネットワーク IP アドレス

VMware vMotion	IP Address Server 1	IP Address Server 2	番 号
Server 1 および 2 の VMware vMotion IP アドレス			P17 <b>5-1</b>
サブネットマスク			P17 <b>5-2</b>

##### 6. VMware vCenter 関連情報 (オプション)

VMware vCenter	IP Address ほか	番 号
vCenter IP アドレス		P13 <b>6-1</b>
vCenter Admin ユーザ名		P13 <b>6-2</b>
vCenter Admin パスワード		P13 <b>6-3</b>
vCenter Data Center 名		P13 <b>6-4</b>
VMware vSphere クラスタ名	Cisco HyperFlex のクラスタ名と同じ名前で作成されます	P12 <b>1-1</b>

## 4. Cisco HyperFlex Edge インストールの準備

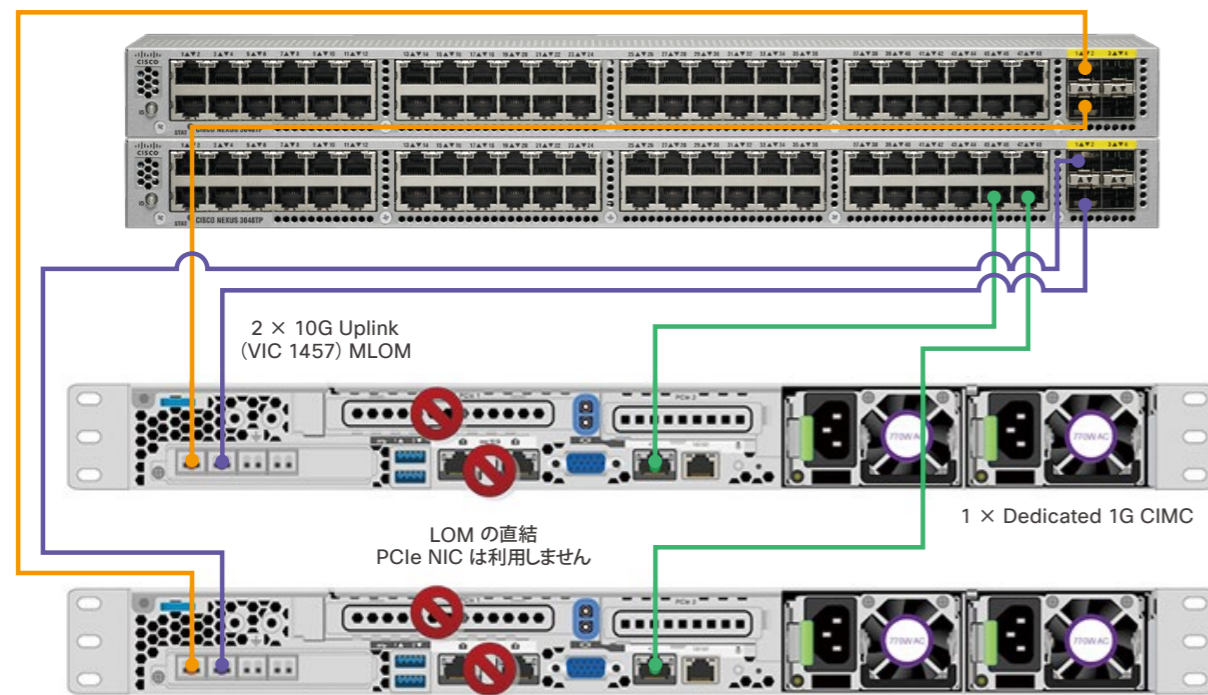
### 4-2 Cisco HyperFlex 2-Node Edge 基本構成と接続 [10G]

#### •10GbE デュアル スイッチ接続構成

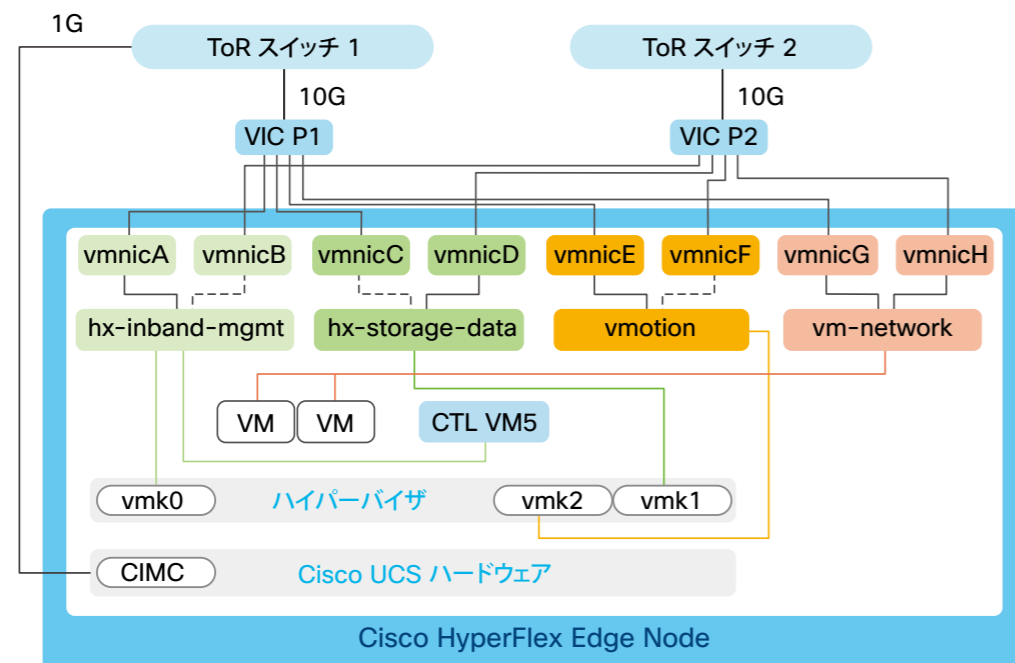
Cisco HyperFlex 2-Node Edge からスイッチに接続するには、各ノードの VIC 1457 Port#1 を 1 台のスイッチへ、Port#2 をもう 1 台のスイッチへ接続します。

CIMC のポートは Dedicated に設定し、接続先のスイッチに接続します。本構成では LOM 間の接続と PCIe NIC は利用しません。

2-Node Edge 10GbE アップリンク構成



論理ネットワーク構成



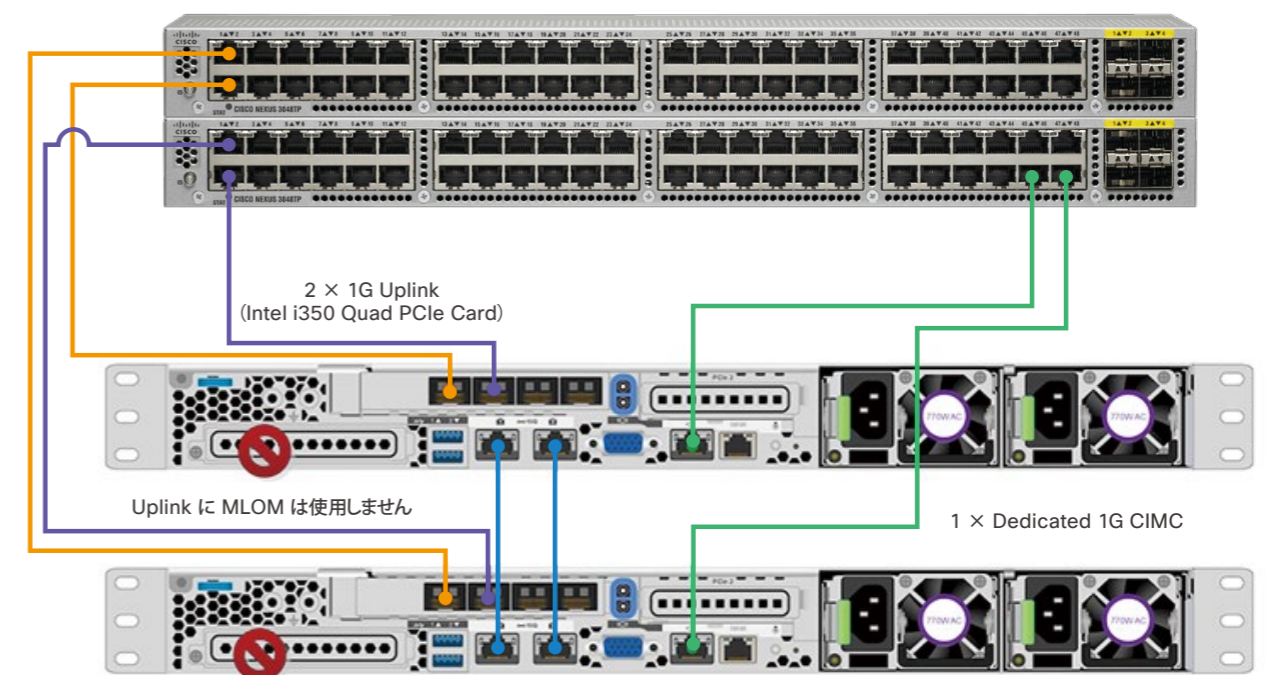
### 4-2 Cisco HyperFlex 2-Node Edge 基本構成と接続 [1G]

#### •1GbE デュアル スイッチ接続構成

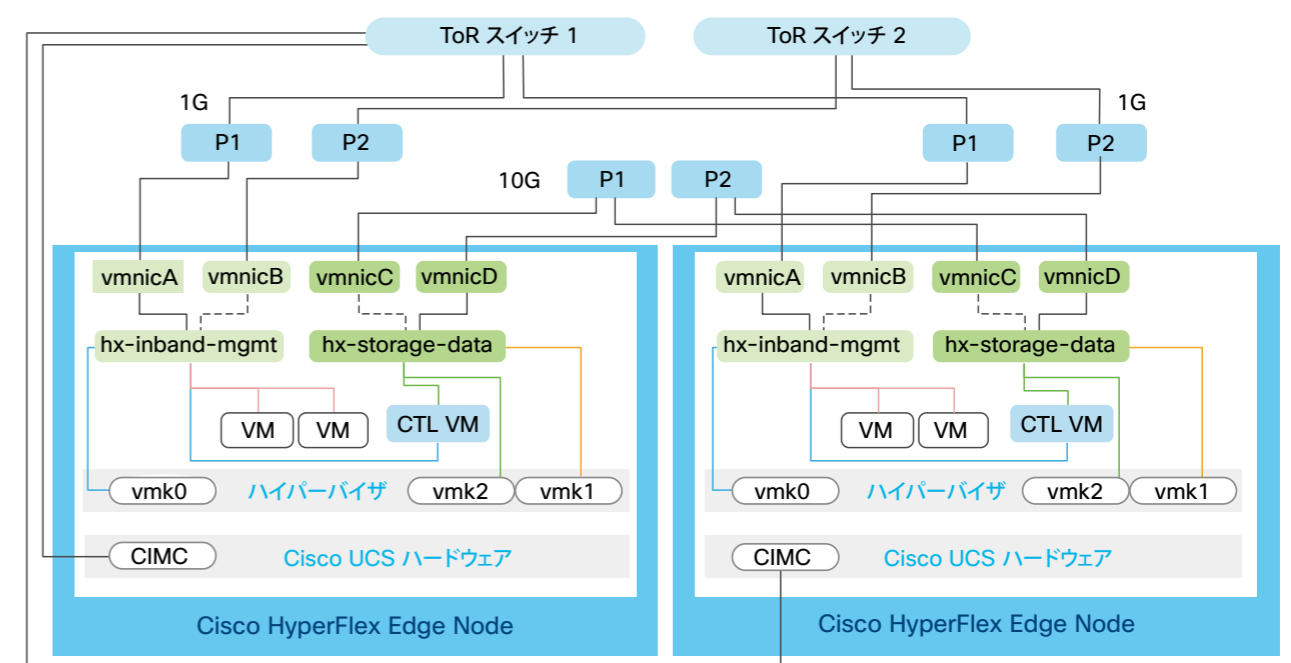
Cisco HyperFlex 2-Node Edge からスイッチに接続するには、各ノードの Intel i350 Port#1 を 1 台のスイッチへ、Port#2 をもう 1 台のスイッチへ接続します。

CIMC のポートは Dedicated に設定し、接続先のスイッチに接続します。各ノード間を 10GE LOM の Port#1 同士、Port#2 同士で接続します (ストレージ通信用)。

2-Node Edge 1GbE アップリンク構成



論理ネットワーク構成

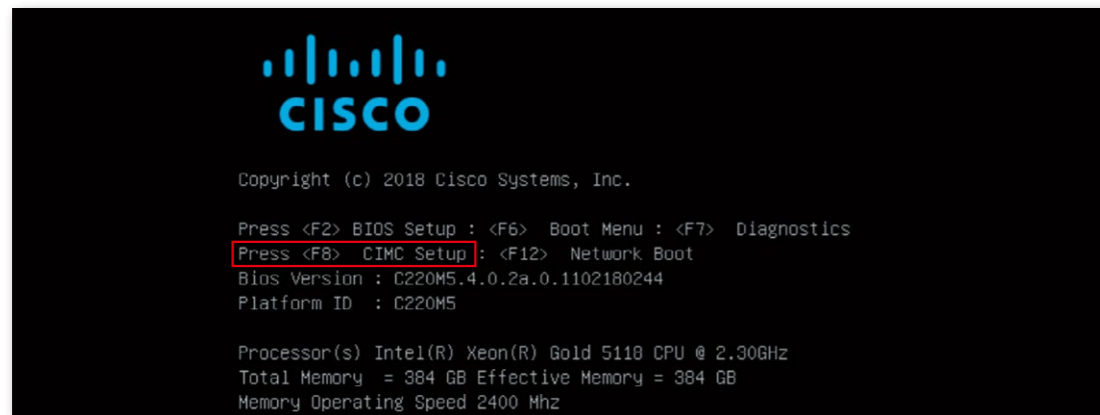




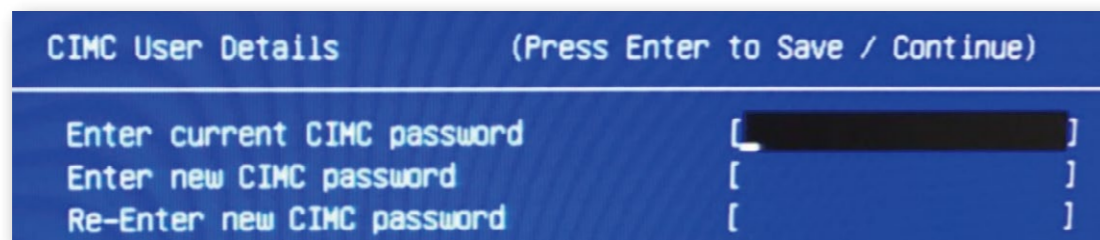
## 4. Cisco HyperFlex Edge インストールの準備

### 4-3 ノード初期設定 (CIMC の設定)

起動時に F8 キーを押して CIMC Setup を起動します。初回起動時は必ずパスワードの変更を実施してください。

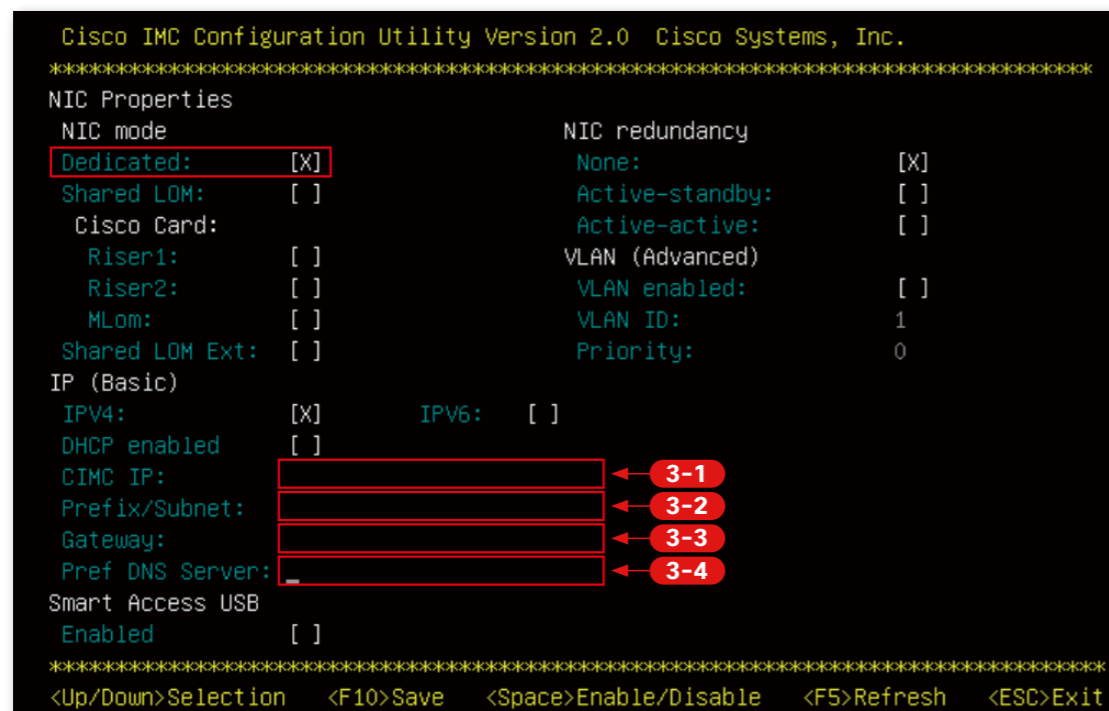


出荷時のパスワードは password となっていますので、別のパスワードに変更する必要があります。



パスワード変更後に再起動し、同様に F8 キーを押して CIMC Setup を起動します。

Cisco IMC Configuration Utility 画面から、「NIC Properties」の「NIC mode」を選択して「Dedicated」にチェックを入れ、Cisco Intersight と通信ができる適切な IP アドレスを入力します。Boot order などは Cisco Intersight から自動で設定されるため、変更の必要はありません。



CIMC の設定を完了後、https://CIMC の IP アドレスへブラウザからアクセスして CIMC にログインします。ログイン画面で CIMC のバージョンが表示されるので、Cisco HyperFlex Edge でのサポート可否を確認します。CIMC のバージョンを変更する場合は、Cisco Host Upgrade Utility (HUU) を使用します。また、プリインストール済みの VMware vSphere ESXi のバージョンを変更する場合は、CIMC 管理画面内で KVM コンソール接続を行って ISO イメージから変更することが可能です。

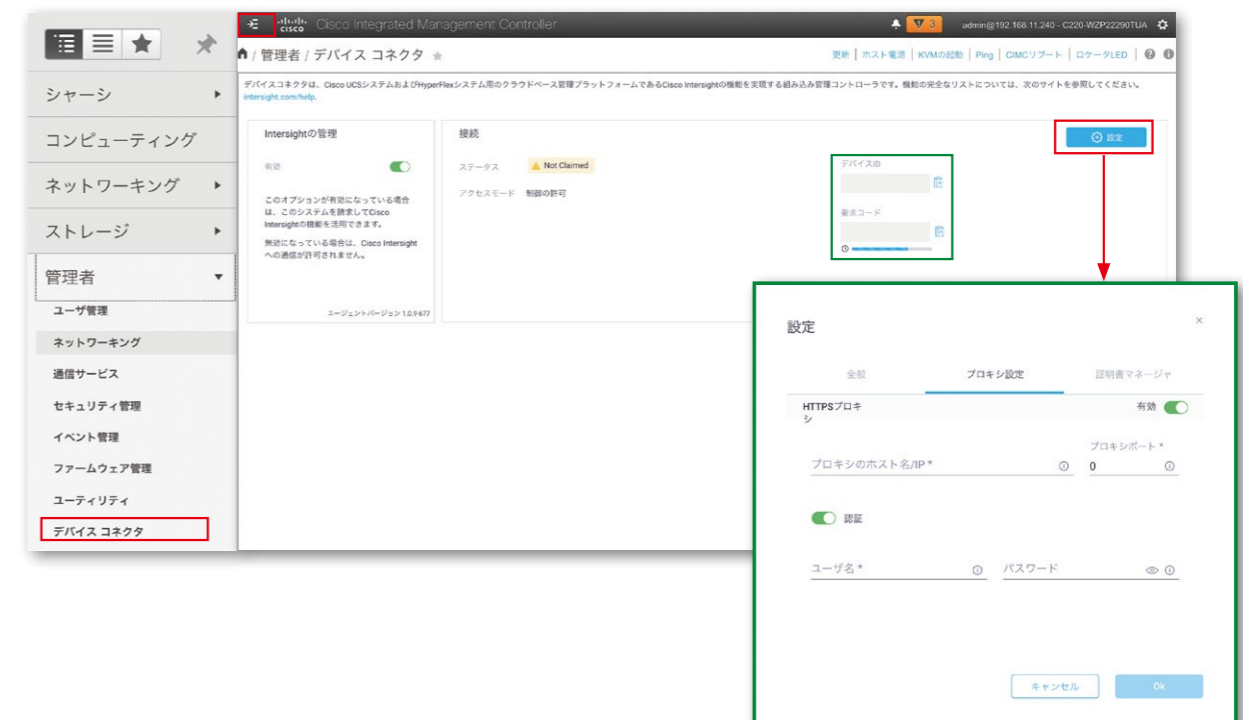
この際に使用する VMware ESXi の ISO イメージは、Cisco.com ソフトウェアダウンロードから Cisco HyperFlex 用のものを取得して使用してください (CIMC および VMware ESXi のバージョン変更手順は、別途 Cisco UCS ドキュメントを参照してください)。



CIMC へログインし、左上のメニューから「管理者」の「デバイスコネクタ」を選択します。

ここで表示されるデバイス ID、要求コードは Cisco Intersight へ登録するために必要な情報となります。本作業を実施する際は P10 の手順 4-5 または P11 の手順 4-6 と並行して行います。

Cisco Intersight の接続にプロキシ設定が必要な場合は、画面右上の「設定」をクリックし、「プロキシ設定」を選択してプロキシ情報を入力します。



## 4. Cisco HyperFlex Edge インストレーションの準備

### 4-4 Cisco Intersight 利用の準備

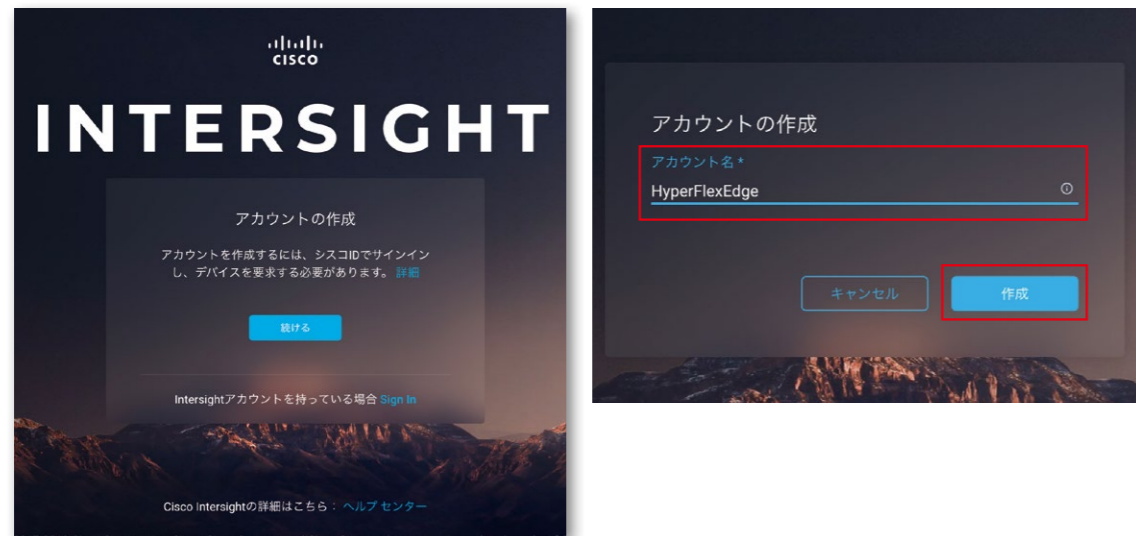
Cisco Intersight にアクセスし、アカウントにログインします。

<https://intersight.com>

初めて Cisco Intersight を利用する際は 4-5 へ、すでに Cisco Intersight をご利用の場合は 4-6 へ進んでください。

### 4-5 Cisco Intersight を初めて利用する場合

Cisco Intersight を初めて利用する際は、「続ける」を選択して「アカウントの作成」でアカウント名を記入し、「作成」をクリックして新規アカウントを作成します。



アカウントを作成したら、まず言語を日本語に変更します。右上のユーザ名をクリックし、「User Preferences」を選択して、言語を日本語にします。

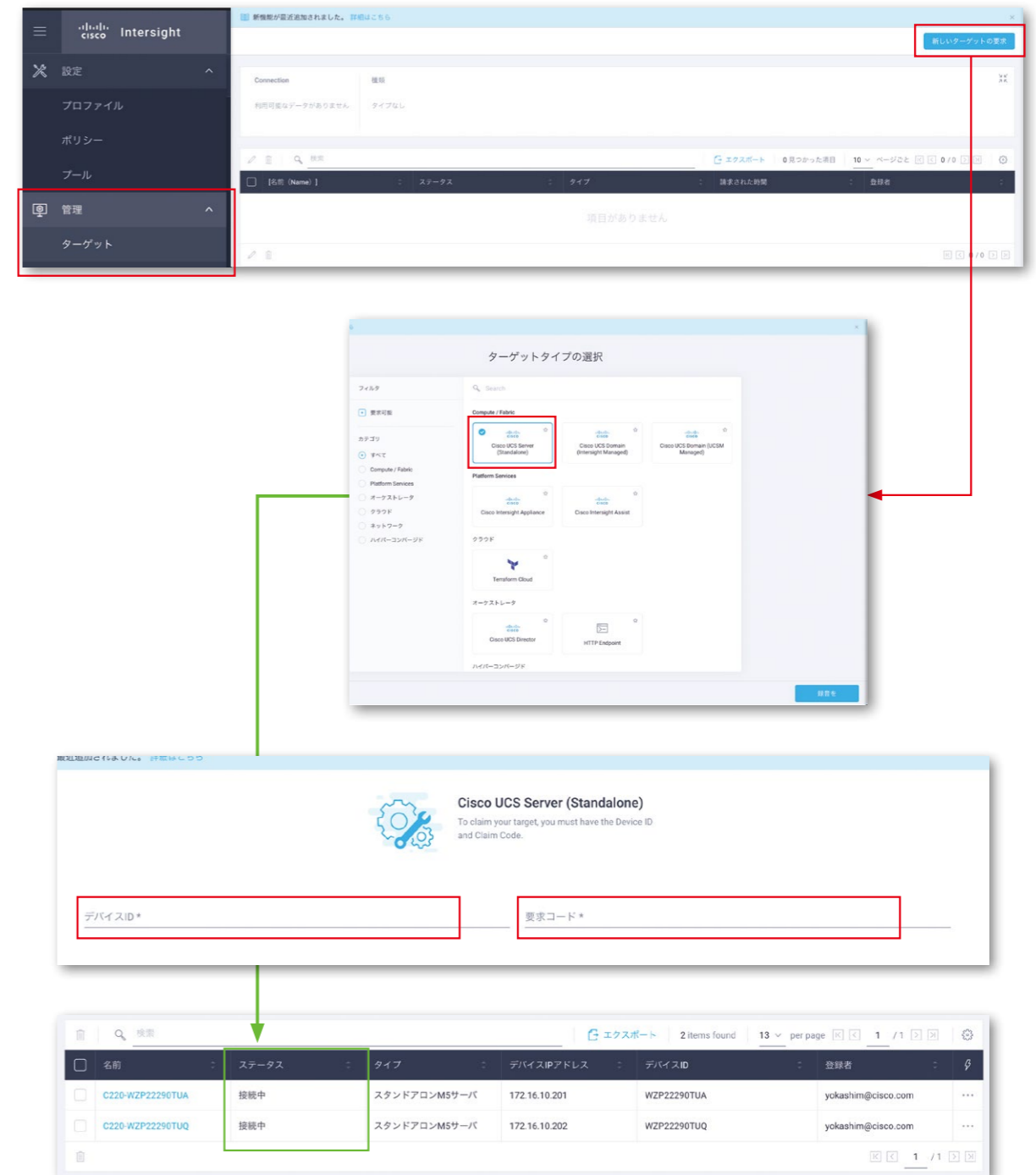
また、テーマを「ライト」にすると、背景が白色となります。



### 4-6 デバイスの登録 (2 台目以降のデバイス登録)

CIMC からデバイスコネクタを選択すると、Device ID、要求コードが表示されます。Cisco Intersight の左メニューで「ターゲット」を選択して「新しいターゲットの要求」をクリックし、「Cisco UCS Server (Standalone)」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

デバイス ID、要求コードを入力してサーバを Cisco intersight へ登録します。



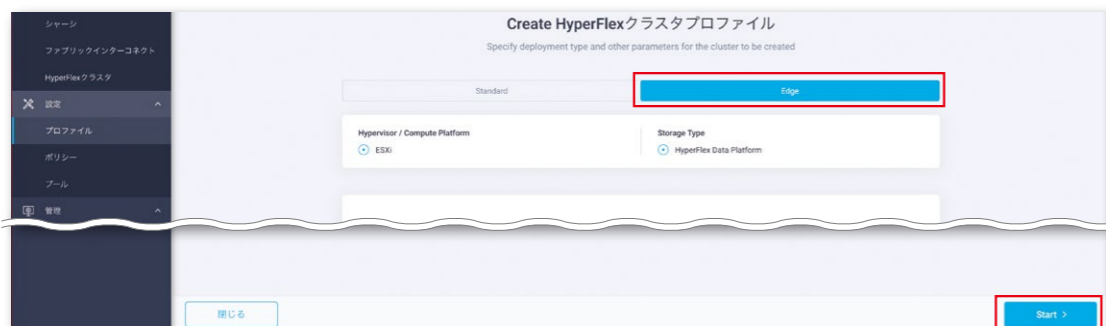
# 5. Cisco HyperFlex Edge インストレーションの手順

## 5-1 標準インストレーション

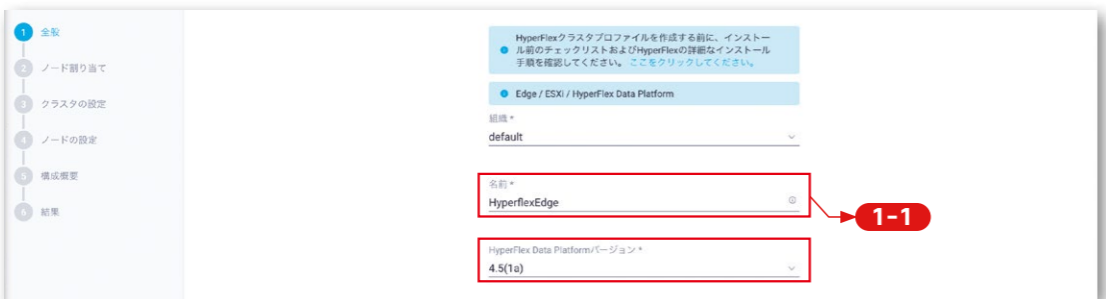
Cisco HyperFlex 2-Node Edge 構成は Cisco Intersight からインストレーションを行います。  
メニューから「設定」→「プロファイル」を選択し、「HyperFlex クラスタプロファイルの作成」から設定に進みます。



• 1 Cisco HyperFlex クラスタプロファイル画面で「Edge」を選択し、「Start」をクリックします。



• 2 HyperFlex クラスタ名を入力後、HyperFlex データプラットフォームのバージョンを選択します。  
ここでは最新の「4.5(1a)」を選択します。



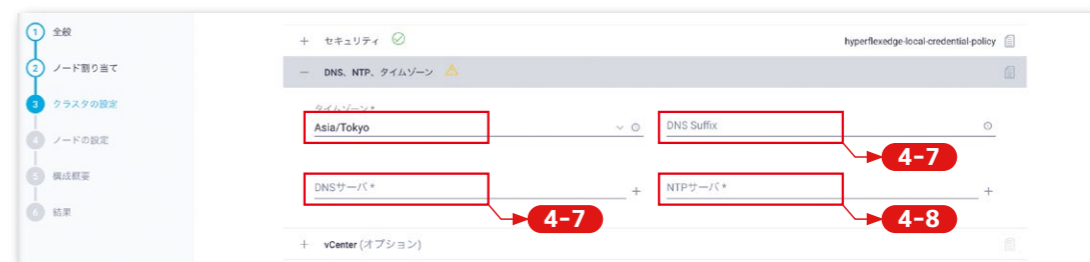
• 3 ノードの設定の割り当てとして Cisco HyperFlex Edge に構成するノードを選択します。



• 4 セキュリティ設定では、ハイパーバイザおよびコントローラ VM の認証情報を設定します。



• 5 DNS、NTP、タイムゾーンに関する情報を設定します。



• 6 VMware vCenter のオプション設定では、VMware vCenter へのアクセス情報、データセンター名を設定します。  
本設定はインストレーション終了後に行うことも可能ですが、インストレーションの中で設定することが推奨されます。



• 7 ストレージのオプション設定が可能です。Cisco HyperFlex Edge を完全に VDI 用途で使用する場合は、VDI の最適化を有効にできます。仮想サーバが混在する場合は無効のままにします。  
また、一度インストレーションを行ったノードに対して再度インストレーションを行う場合は、ディスクパーティションのクリーンアップを選択する必要があります。





# 5. Cisco HyperFlex Edge インストレーションの手順

## 5-1 標準インストレーション

- 8 自動サポートのオプション設定が可能です。Cisco Smart Net Total Care 契約の付加機能である Cisco Smart Call Home (SCH) を有効にすることができます。



- 9 Cisco HyperFlex Edge ノードの IP を設定します。Cisco HyperFlex Edge の管理 IP として設定され、VMware ESXi、VMware vCenter と通信できるネットワークである必要があります。



- 10 ネットワークの設定として、1G 構成または 10G 構成を選択します (ここでは 10G 構成を選択します)。また、MAC アドレスのプレフィックス、管理ネットワーク用の VLAN ID を設定します。ジャンボフレームの部分は 10G 構成でのみ選択することが推奨されます。



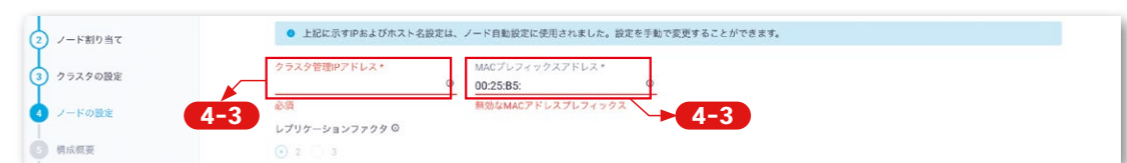
- 11 プロキシのオプション設定が可能です。Cisco HyperFlex Edge と Cisco Intersight 間の通信がプロキシを経由する必要がある場合に、設定が必要です。



- 12 Cisco HyperFlex Edge のストレージネットワーク用の VLAN ID を設定します。



- 13 ノードの設定として、クラスタ管理 IP アドレスと MAC アドレスのプレフィックスを設定します。Cisco HyperFlex 2-Node Edge 構成の場合はレプリケーションファクタは「2」が固定となります。



- 14 最後に設定の有効性チェックを行い、展開します。インストレーションにかかる時間は、インターネット回線の状況により異なりますが、およそ 2 時間以内で完了します。



- 15 インストレーション完了後は、https:// クラスタ管理 IP アドレスで Cisco HyperFlex Edge の GUI 管理画面 HyperFlex Connect にアクセスし、admin ユーザでログインできることを確認します。Cisco HyperFlex Edge のクラスタ状態、ストレージ容量などを確認できます。





# 5. Cisco HyperFlex Edge インストールの手順

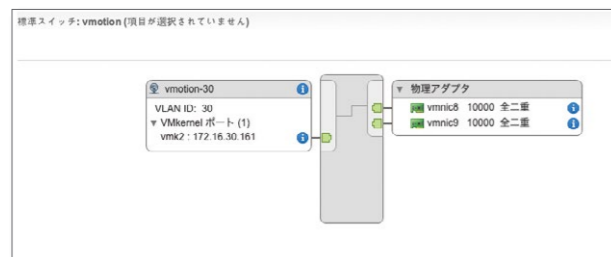
## 5-2 POST インストール

Cisco HyperFlex 2-Node Edge のインストール後は、クラスタ管理 IP アドレスへ ssh で <admin> ユーザを使ってログインし、対話形式の hx\_post\_install を実施する必要があります。

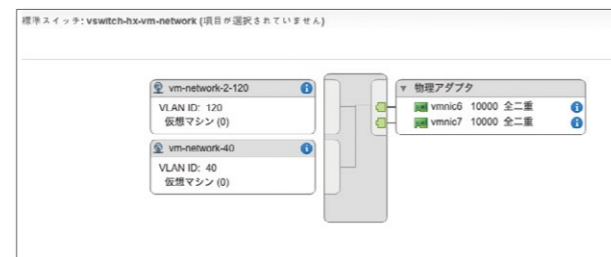
スクリプト内の [3. Generate Certificate] は必ず実施してください。

[1. New/Existing Cluster] を実行すると、下の図が示す通りの VMware vMotion および仮想マシン用のネットワークを追加することができます。

### • 1 追加される VMware vMotion の設定



### • 2 追加される仮想マシンのポートグループ



### • 3 hx\_post\_install による Generate Certificate の実行

```
admin:~$ hx_post_install
Select post_install workflow-

1. New/Existing Cluster
2. Expanded Cluster
3. Generate Certificate

Note: Workflow No.3 is mandatory to have unique SSL certificate in the cluster.
By Generating this certificate, it will replace your current certificate.
If you're performing cluster expansion, then this option is not required.

Selection: 3 「3」を実行します
Certificate generation workflow selected
:
HX CVM admin password: xxxxxx [Contorller VM のパスワードを入力します]
Getting ESX hosts from HX cluster...

Select Certificate Generation Workflow-

1. With vCenter
2. Without vCenter

Selection: 1 「1」を選択します
vCenter URL: xxx.xxx.xxx.xxx [VMware vCenter の IP が表示されます]
Enter vCenter username (user@domain): administrator@vsphere.local [VMware vCenter へのログインユーザ名を入力します]
vCenter Password: xxxxxxxx [VMware vCenter のパスワードを入力します]
Starting certificate generation and re-registration.
:
Certificate generated successfully.
Cluster re-registration in progress .... :
:
Cluster re-registered successfully [successfully] と表示されたら ENTER キーを押して Script を終了します
```

### • 4 hx\_post\_install による New/Existing Cluster の実行

```
admin:~$ hx_post_install [install スクリプトを実行します]
Select post_install workflow-

1. New/Existing Cluster
2. Expanded Cluster
3. Generate Certificate

Note: Workflow No.3 is mandatory to have unique SSL certificate in the cluster.
By Generating this certificate, it will replace your current certificate.
If you're performing cluster expansion, then this option is not required.

Selection: 1 「1」を実行します
Logging in to controller localhost

HX CVM admin password: xxxxxx [Contorller VM のパスワードを入力します]
Getting ESX hosts from HX cluster...
vCenter URL: xxx.xxx.xxx.xxx [VMware vCenter の IP が表示されます]
Enter vCenter username (user@domain): administrator@vsphere.local [VMware vCenter へのログインユーザ名を入力します]
vCenter Password: xxxxxxxx [VMware vCenter のパスワードを入力します]
Found datacenter Datacenter
Found cluster HX-2node-Edge-10g

post_install to be run for the following hosts:
172.16.10.161
172.16.10.162:
:
Enter ESX root password: xxxxxxxx [VMware ESXi の root パスワードを入力します]
HX Edge configuration detected
Uplink speed is detected as: 10G
Uplink count is detected as: 2

Enter vSphere license key? (y/n) [ここではライセンスキーのインストールをスキップするため、(n) を入力します]

Enable HA/DRS on cluster? (y/n) y [HA、DRS を有効にしたい場合は (y) を入力します]
Successfully completed configuring cluster HA.
Successfully completed configuring cluster DRS.

Disable SSH warning? (y/n) y [(y) を入力します]

Add vmotion interfaces? (y/n) y [(y) を入力して VMware vMotion のネットワークを追加します]
Netmask for vMotion: xxx.xxx.xxx.xxx [VMware vMotion で利用するサブネットマスクを入力します]
VLAN ID: (0-4096) xx [VMware vMotion で利用する VLAN を入力します]
vMotion MTU is set to use jumbo frames (9000 bytes). Do you want to change to 1500 bytes? (y/n) y [VMware vMotion ネットワークで Jumbo frame を利用しない場合は (y) を入力します]
vMotion IP for Server 1 : xxx.xxx.xxx.xxx [VMware vMotion の IP アドレスを入力します]
vMotion IP for Server 2 : xxx.xxx.xxx.xxx [VMware vMotion の IP アドレスを入力します]
:
Add VM network VLANs? (y/n) y [仮想マシンのネットワークを追加する場合は (y) を入力します]
Port Group Name to add (VLAN ID will be appended to the name):vm-network [作成する Port Group 名を入力します]
VLAN ID: (0-4096) xx [追加する VLAN を入力します]
Add additional VM network VLANs? (y/n) n [追加で作成する Port Goup がない場合は (n) を入力します]

Run health check? (y/n) y [(y) を入力します]
Validating cluster health and configuration...

Cluster Summary:
Version - 4.5.1a-39020
Model - HXAF220C-M5SX
Health - HEALTHY
ASUP enabled - False
```

## 5. Cisco HyperFlex Edge インストールの手順

### 5-3 ライセンスのインストール

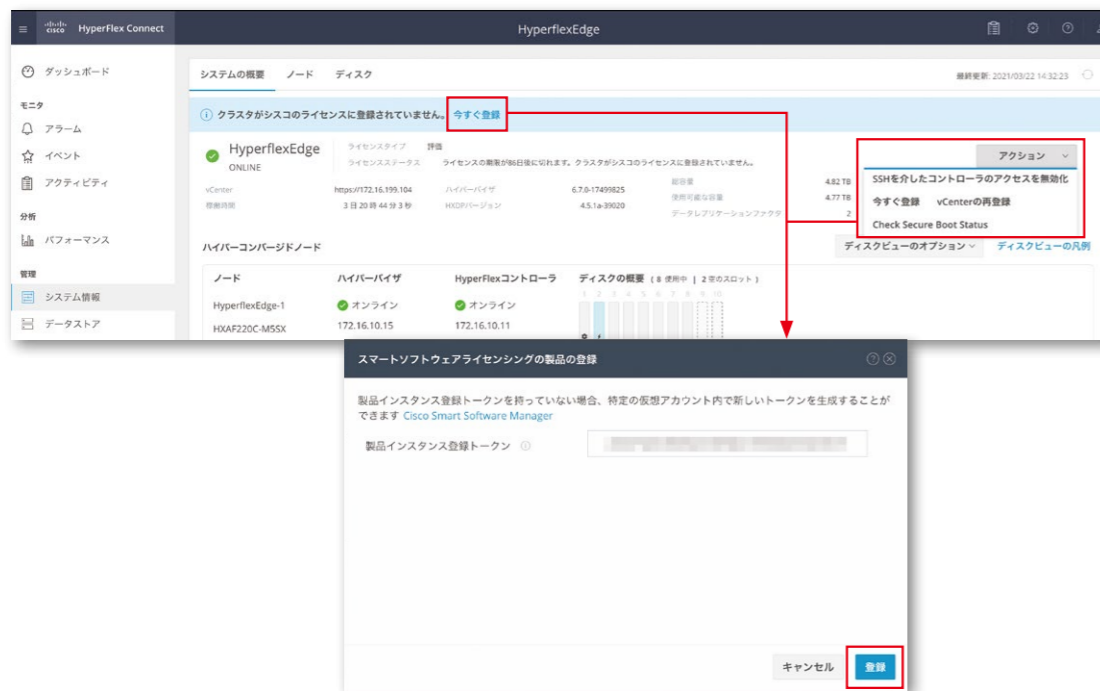
Cisco HyperFlex 2.5 以降では Cisco Smart License が必要です。

Cisco HyperFlex Edge のクラスタが未登録の場合、90 日間の評価期間となります。ライセンスの登録は Cisco Smart アカウントを通じて Cisco Smart Software Manager (SSM) に登録する必要があります。

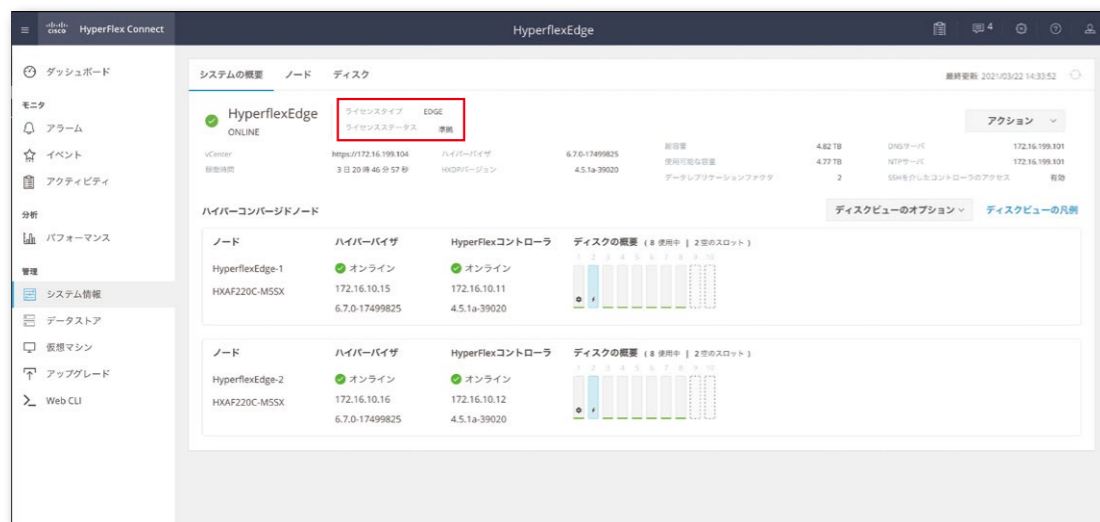
Cisco Smart アカウントを作成するには、次の URL から行います。

<https://webapps.cisco.com/software/company/smartaccounts/home?route=module/accountcreation>.

Cisco HyperFlex Connect を起動して左メニューの「システム情報」を選択すると、ライセンスタイプが「評価」となっています。「今すぐ登録」または画面右上の「アクション」から「今すぐ登録」を選択しトークンキーを入力してから「登録」をクリックします。



ライセンスが登録されるとシステム情報から正しいライセンスが確認できます。



### 5-4 Cisco HyperFlex HTML Plugin for VMware vCenter

Cisco HyperFlex では、VMware vCenter 6.5U2 以降で Cisco HyperFlex 4.0(2a) の場合に、VMware vCenter サポートの HTML プラグインが利用できるようになり、Snapshot の作成や Cisco HyperFlex の状況を VMware vCenter から確認できるようになりました。この Cisco HyperFlex HTML plugin は Google Chrome、Mozilla Firefox および Microsoft Internet Explorer で動作します。

Cisco HyperFlex HTML Plugin は別途シスコのソフトウェアダウンロードサイトから取得します。

<https://software.cisco.com/download/home/286305544/type/286305994/release/4.5%25281a%2529>

本ドキュメントでは HyperFlex-VC-HTML-Plugin-2.0.0.zip となっていますが、最新版を確認しインストールしてください。

1. ダウンロードしたファイルと SCP など Cisco HyperFlex の Cluster IP へアクセスし、/tmp/ 以下へコピーします。

```
Local PC admin:~$ scp HyperFlex-VC-HTML-Plugin-2.0.0.zip admin@HX Cluster IP:/tmp/
HyperFlex StorageController 4.5(1a)
admin@172.16.10.10's password: [admin パスワードを入力]
HyperFlex-VC-HTML-Plugin-2.0.0.zip 100% 4682KB 7.4MB/s 00:00
```

2. ssh で、admin 権限で Cisco HyperFlex の Cluster IP にログインします。上記の手順 1 で保存したファイルを展開し、install\_vc\_plugin コマンドを実行します。

```
$ ssh admin@ HX Cluster IP
HyperFlex StorageController 4.5(1a)
admin@172.16.10.10's password: : [admin パスワードを入力]
This is a Restricted shell.
Type '?' or 'help' to get the list of allowed commands.
admin:~$ cd /tmp
admin:/tmp$ unzip HyperFlex-VC-HTML-Plugin-2.0.0.zip
Archive: HyperFlex-VC-HTML-Plugin-2.0.0.zip
  inflating: hx-html-plugin.zip
  inflating: install_vc_plugin.py
admin:/tmp$ install_vc_plugin [install_vc_plugin コマンドを実行]
Initiating installation of Cisco HyperFlex vCenter plugin...
Enter vCenter FQDN/IP:xxx.xxx.xxx.xxx [vCenter のアドレスを入力]
Enter administrator vCenter username: administrator@vsphere.local [vCenter 管理者ユーザーを入力]
Enter password for administrator@vsphere.local: [vCenter 管理者ユーザーのパスワードを入力]
Enter storage controller root password: [SCVM の root パスワード (admin と同じ) を入力]
Enter storage controller admin password: [SCVM の admin パスワード (root と同じ) を入力]
Copying plugin to storage controller VMs...
Copying plugin to 169.254.1.5
Copying plugin to 169.254.1.3
Cisco HyperFlex vCenter Plugin version '2.0.0' is registered successfully with vCenter server xxx.xxx.xxx.xxx
```

3. VMware vCenter へログインして、メニューから Cisco HyperFlex Plugin がインストールされたことを確認します。

